

# AIDS UPDATE

No.72 2007.5.18

広島大学病院  
エイズ医療対策室  
内線5581(輸血部長室)  
Internet:www.aids-chushi.or.jp

## HIV検査普及週間のお知らせ

6/1~6/7は厚生労働省の定めたHIV検査普及週間です!

年々増加しているHIV感染者・AIDS患者数。2004年以降、日本国内で新規にHIV感染が判明した人、エイズを発症した人は毎年1000人を超え続け、2006年では過去最高の1300人を超えました。

広島県でも、2006年に保健所等に寄せられたHIV/AIDS関連の相談件数・HIV抗体検査数は、相談件数4045件(全国で8番目に多いです!)・検査件数1876件(こちらは全国で15番目)でした。5年前と比べて相談件数は1300件以上、検査件数は700件以上増加しています。

こうした状況を受けて、平成18年度から全国で『HIV検査普及週間』がスタートしました。HIV/AIDSに対する理解と関心を高め、検査相談体制の整備などを目的に、6月1日~7日前後はHIV/AIDS

関係のイベントや検査サービスの拡充がなされる自治体もあります。

広島県内においてHIV抗体検査・相談を行っている機関(裏面参照)を紹介しますので、「この機会に検査を受けてみようかな?」という方はぜひ参考にしてみてください。また、院内に掲示したHIV普及週間のポスター横に、保健所など無料で検査を提供している機関をリストアップして置いてあります。そちらもご利用下さい。(佐藤)



← おなじみのCMがポスターに。見たことある人も多いのでは!?

## 平成19年度 HIV/AIDS関連研修会予定

平成19年度に、広島大学病院エイズ医療対策室が主催・共催するHIV/AIDS関連研修会の予定をお知らせ致します。対象に限られた研修会もありますが、研修会の資料だけ欲しい!という方には資料などお渡しすることもできますので、興味のある方はご連絡下さい!研修会のご報告もAIDS UPDATEで行う予定ですので、お楽しみに!

### 【看護師のためのエイズ診療従事者研修】

初級コース: 8月1日~2日 9月5日~6日  
アドバンスト・コース: 12月15日~16日

### 【抗HIV薬服薬指導のための研修会】 【平成19年度HIV/AIDS専門カウンセラー研修】

6月30日~7月1日 1月26日~27日

(上記2研修会を2度合同開催します。)

3月ごろを予定(カウンセラー研修会のみ)

### 【保健医療SWネットワーク会議】

日程調整中(秋ごろ)

### 【中核拠点病院 医師向け研修会】

2008年1月5日~6日を予定

### 【広島大学病院 職員向けエイズ研修会】

日程調整中



## 広島県内 無料でHIV検査・相談のできるどころ

名称	電話番号	検査実施日	実施時間	迅速検査
広島地域保健所	0829-32-1181	第3水曜日	9:00-11:30	
広島地域保健所海田分室	082-822-5114	第2水曜日	9:00-11:00	
呉地域保健所	0823-22-5400	第2水曜日	9:00-11:00	
芸北地域保健所	082-814-3181	第3水曜日	9:00-11:00	
東広島地域保健所	082-422-6911	第1・第3火曜日	9:00-11:30	
尾三地域保健所	0848-64-2322	第2・第4水曜日	9:00-11:30	
福山地域保健所	084-921-1311	第2火曜日	8:45-15:15	
		6月・12月	8:45-15:15 17:45-19:30	
備北地域保健所	0824-63-5181	第2水曜日	13:00-15:00	
広島県保健対策室 (相談のみ)	082-513-3070	-	8:30-17:00	-
広島市中保健センター	082-504-2528	毎週月曜日	18:00-20:00	
		毎週水曜日	9:00-11:00	
		6月4日	13:00-16:00	
		6月5日	13:00-16:00	
広島市東保健センター	082-568-7729	毎週月曜日	9:00-11:00	
		6月1日	18:00-20:00	
広島市南保健センター	082-250-4108	毎週金曜日	9:00-11:00	
広島市西保健センター	082-294-6235	第2・第3・第4 火曜日	9:00-11:00	2007.5~
広島市安佐南保健センター	082-831-4942	毎週木曜日	9:00-11:00	
		6月4日	9:00-11:00	
		6月6日	9:0-11:00	
広島市安佐北保健センター	082-819-0586	第1・第3木曜日	9:00-11:00	
広島市安芸保健センター	082-821-2808	毎週火曜日	9:00-11:00	
広島市佐伯保健センター	082-943-9731	毎週木曜日	9:00-11:00	
広島市保健医療課 (相談のみ)	082-504-2622	-	8:30-17:00	-
呉市保健所	0823-23-3525	第1火曜日	9:00-11:00	-
呉市保健所東保健センター	0823-71-9176	第3水曜日	9:00-11:00	-
福山市保健所	084-928-1127	月3回(水曜日)	第1・3: 9:00-11:00 第4: 14:30-16:30	
		奇数月第2木曜日	17:30-20:30(実施月1日より予約受付開始)	
広島県エイズホットライン 1	082-242-0812	毎週土日 毎月第1土曜を除く	9:00-16:00	-
広島県エイズ日曜検査 (県立広島病院内)	2	毎月第2・第4日曜日	13:00-16:00	
<b>保険診療として受けられる機関</b>				
県立広島病院	082-252-6228	毎週月~金	12:00-15:00	
広島大学病院	082-257-5351	毎週火・木曜日	13:30-15:30	
おだ内科クリニック	082-502-1051	毎週 月・火・木・金曜日	9:00-12:00 15:00-17:00 18:00-20:00	
		毎週水曜日	15:00-17:00 18:00-20:00	
		毎週土曜日	9:00-12:00	

1 相談及び日曜検査予約受付を実施しています。

2 1の広島県エイズホットラインで検査予約をして下さい。

**はHIV検査普及週間(6月1~7日)中の臨時検査日です。**

迅速検査では、100人に1人の割合で、「偽陽性」がでることがあります。この場合、「確認検査」が必要となり、その結果は1~2週間後になります。

## 広島市医師会エイズ相談研修会 ご報告

エイズ医療対策室カウンセラー 喜花 伸子

### 広島市医師会エイズ研修会について

広島市医師会では市民総合健診でのエイズ相談に備えて、担当医師6名を対象としたエイズ相談研修会を年1回行っています。今年で11回目となるこの研修会には、のべ66名の医師が参加されたこととなります。エイズ相談というイベントのための研修会ではありませんが、参加した医師が後に診療場面でHIV検査を勧め、HIV陽性と判明したケースも2例あり、検査の普及にも繋がっていると言えるでしょう。



### 今年の研修内容

今年の研修会は4月21日に行われ、エイズ医療対策室からは医師の高田、臨床心理士の喜花、看護師の後藤が講師として参加してきました。

プログラムは、医師によるHIV検査のための基礎知識の講義、臨床心理士による検査前後の対応についての講義、ロールプレイと進みました。

今回のロールプレイでは、数年前に感染の可能性のある行為があり不安の高いケース、急性感染を疑わせる症状のあるケース、何気なく受検したように見えて感染の可能性の高い行為があったケースの3事例を想定し、それぞれ検査前説明と検査結果告知の2場面を行いました。

### ディスカッション内容

講義やロールプレイの前後には、参加者の積極的な質問により、ディスカッションをすることができました。話し合われたテーマは「検査結果は聞きに来てもらうにはどうすればよいか」「配偶者に感染を伝えることについて、医療者はどうするべきか」「今後の感染予防のため性行動についてどう助言するか」「性行動、性志向についてたずねることへの躊躇」などでした。どれも簡単に結論の出せる問題ではありませんが、様々な意見を交換できたことは大変有意義だったと思います。

### 告知直後カウンセリングについて

実際に医療機関や保健所でHIV陽性告知を行う際、依頼により派遣カウンセラーが待機し告知直後のカウンセリングを行える体制が中四国地方は全県で整っています。この告知直後のカウンセリングの役割についての質問も参加者から出されました。

HIV感染がすぐに死に至る時代ではなくなってきたとはいえ、まだまだ社会一般には知識も浸透しておらず、HIV感染を告知されることは大きな心理的危機状態を招く場合が多いと言ってよいでしょう。感染を知っても医療機関にかかる勇気が出ないこともありますし、最悪の可能性としては自殺されてしまうことも考えられます。



HIV感染を知ることによって起こる問題を乗り越えながら、よりその人らしく生きていくその最初の一步をどう踏み出していくのかという大変大事な時期のお手伝いをするのが、告知後カウンセリングの役割なのではないかと考えています。

今回の研修会が、今後の診療の中で必要な方への検査、そしてよりよい告知に繋がるという形でお役に立てれば幸いです。



## エイズ診療体制：中核拠点病院

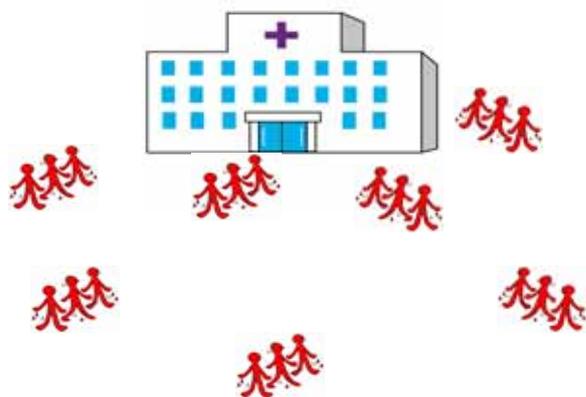
前号では、当院でのHIV/AIDS診療体制について、全国のエイズ診療体制との関わりや、この体制がどのようにして構築されたのか、ということについて簡単な説明をしました。さて、今回は広島県内のエイズ診療体制に焦点を当てて、新しくできた中核拠点病院についての説明をしたいと思います。

### 中核拠点病院：選定の背景と機能

中核拠点病院体制が必要とされたのは、関東や近畿地方など、感染者数の多い都市において少数のブロック拠点病院に患者の集中が続いていたためです。

「患者集中を避け、各都道府県内でのエイズ診療提供体制の再構築を！」ということで平成19年度よりスタートした中核拠点病院体制。広島県では、県立広島病院と広島市立広島市民病院が中核拠点病院に選定されました。

今後、県内にある拠点病院2ヶ所と受療協力病院22ヶ所に対して研修や協議会などを開催し、各病院間での連携・診療の質の向上を担っていくことになりました。以上のことから、広島県内ではブロック拠点病院である広大病院が中核拠点2病院を支援、中核拠点院が拠点病院と受療協力病院を支援するという体制になりました。（佐藤）



### <ご意見募集>

ご意見やご希望がありましたら、エイズ医療対策室(5351/5581)までお寄せください。

[TAKATA]

nobotaka@hiroshima-u.ac.jp



## 第21回 日本エイズ学会学術集会・総会

21st Annual Meeting of The Japanese Society for AIDS Research, Hiroshima 2007

第21回大会メインテーマ

# STEP UP! 情報・教育

情報の共有・教育の充実を通して、今より一歩前へ、STEP UP! していくことが今大会のメインテーマです。

会期： 2007年11月28日(水)～30日(金)

会場： 広島国際会議場(広島市)

